2026 年度環境保全計画書

関西エアポート神戸株式会社

① 環境理念・環境方針

環境理念

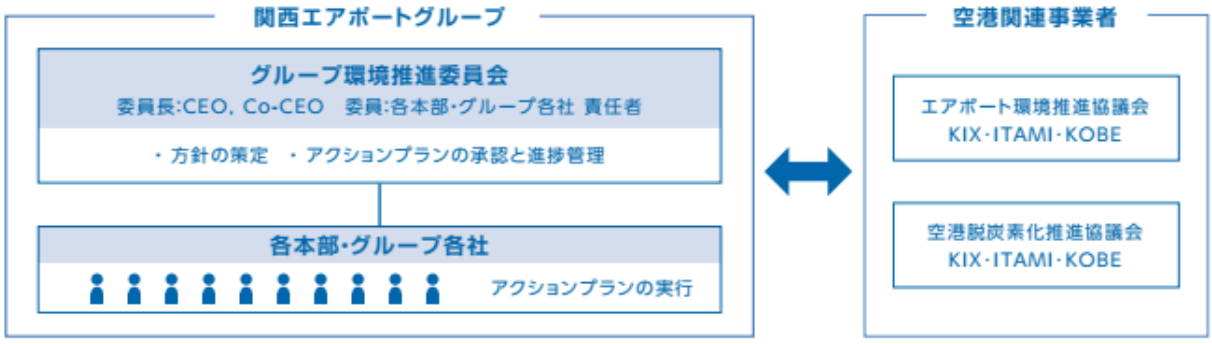
私たち関西エアポートグループは、地球規模での環境問題解決の重要性を認識し、公共インフラである空港の運営を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

環境基本方針

・グループ社員一人ひとりが、日々の業務において地球環境の保全に努めます。
・事業活動に伴う環境負荷を明確にし、低減に向けた目標を設定して積極的に取り組みます。
・定期的に取り組みの進捗確認を行い、内容の改善に努めます。
・空港分野において先駆的な役割を果たします。さらに航空分野を含む空港全体の負荷低減にも貢献します。
・空港や地域に関わる全てのステークホルダーの皆様とのコミュニケーションに努めます。

② 環境推進体制

関西エアポートグループでは、グループ一丸となって環境活動を推進するため、環境推進体制を構築しています。
各本部やグループ会社の責任者で構成されるグループ環境推進委員会（委員長：CEO、Co-CEO）のもと、各本部・グループ各社はそれぞれ策定したアクションプランを実行し、定期的に評価や報告を行い、取り組み改善につなげています。
また、3 空港のエアポート環境推進協議会や、空港の設置管理者が設置する空港脱炭素化推進協議会を通じて空港関連事業者と協力しながら取り組みを推進しています。



③ 環境目標値及び取り組む環境保全活動

気候変動やエネルギー・資源の枯渇などさまざまな環境問題が深刻化しています。関西エアポートグループは、空港運営を通じて、脱炭素社会、循環型社会、及び自然や

地域社会との調和による環境共生社会の実現に貢献します。
「環境ビジョン 2050」では関西エアポートグループが長期的に目指す姿を、「環境目標 2030」ではその達成に向けたマイルストーンとなる具体的な目標を設定しています。

環境ビジョン 2050

関西エアポートグループは、脱炭素・循環経済・環境共生の取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献します。

脱炭素

関西エアポートグループの事業活動に伴う温室効果ガス排出量実質ゼロ
空港関連事業者を含む、空港全体の温室効果ガス排出量削減への貢献

循環経済

Zero Waste Airport
✓徹底的な削減・分別・リサイクル
✓資源化率 100%

環境共生

空港周辺の健全な生活環境の確保
✓航空機騒音、周辺環境の監視
自然との共生
✓水資源の効率的な利用
✓水環境・土壌環境の保全
✓健全な生態系確保への貢献

環境目標 2030

脱炭素

関西エアポートグループ事業に伴う温室効果ガス排出量を 2016 年度比 50%削減

主な取組
✓省エネルギーの推進
✓再生可能エネルギー・水素の利活用
✓Zero Emission Vehicle の導入推進

循環経済

空港全体の廃棄物焼却量を 2016 年度レベルより増加させない
関西エアポートグループ事業に伴う使い捨てプラスチック使用量を 2016 年度比 30%削減

主な取組
✓環境に配慮した素材の使用
✓プラスチックの削減・素材の転換・水平リサイクル
✓可燃ごみの更なる削減・分別・リサイクル推進

環境共生

適切かつ着実に、周辺環境の監視を継続

空港全体の水の総使用量 2016 年度レベルより増加させない
関西エアポートグループの上水使用量を 2016 年度比 15%削減
生物多様性の保全

主な取組

✓航空機騒音をはじめとする周辺環境の監視
✓中水・雨水の積極的な活用と節水オペレーションの強化
✓豊かな藻場環境の維持

神戸空港における主な取り組み

●脱炭素

・BEMS（Building Energy Management System）を用いたエネルギー分析（継続）
・温湿度センサを用いたビル内室温度管理（継続）
・ペロブスカイトの実証実験（継続）
・駐車場、団体待合室、管理事務所の照明 LED 化
・ターミナルビル屋根および駐車場における太陽光発電設備の導入

●循環経済

・直営店舗で使用する備品の環境に配慮した製品の使用（継続）
・SAF の重要性周知・廃食用油回収の呼びかけ（継続）
（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空機燃料）
・草刈りロボットの導入による廃棄物（刈草処分量）の削減

●環境共生

・航空機騒音の監視（継続）
・トイレ洗浄水・手洗い設備の水量調整等による節水（継続）
・消防車の放水訓練での中水利用による上水使用量削減（継続）